

点検階段設置工の作業手順

準備工

除草

防草シートの設置

点検階段設置

後片付け

内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 埋設物の試掘確認	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による 作業別安全チェックシートの活用。 安全装置の確認 条数深さの確認し立ち会いを行う。
施工予定箇所＋両側1m幅で草刈を行う。 施工予定箇所に枝等の障害になりそうなものは、除去する。	鎌・手のこを使う際は耐切創手袋を使用する。 有資格者による、機械作業を行う。 傾斜角が40°以上の箇所では墜落防止保護具（ロリップ）を使用する。
設置箇所に防草シートを設置する。（監督員と協議の上、幅決定） Uアンカーを1000@以内で設置する。 アンカーピン設置箇所表面は保護テープにて、保護する。 ラップ箇所においては、100mm以上のラップ幅を設ける。 接着剤を使用する際は、下地を清掃してから、塗布し、シート越しに、ローラーにて転圧する。 排水溝に設置する際は、専用のアンカーと接着剤を併用する。	施工箇所に合わせた固定方法で行う。 雨天時は接着剤は使用しない。
設置箇所に角材90×90×2000を2本平行に設置し、鉄ピン・角杭にて固定する。 最初の1段目は設置予定角度より+5°のステップを設置する。 2段目以降は設置予定角度のものを必要段数設置する。 角材とステップに専用の金具を設置し、手摺を設置する。	
終礼の実施	安全ミーティング日報による

注意事項	安全帯を必ず使用する。 作業に合った保護具を使用する。 有資格者による、機械作業を行う。 規制内の車輛誘導は、必ず行う。 吊り荷の下に入らない。 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。
------	---